

1. 環境方針

[環境理念]

当社は地域の活性化、魚食の普及＝地場産業の振興と、観光を合せた販売施設として設立されました。

常に魚類資源の保全・再生を意識して、積極的に環境保全に取り組む企業を目指します。

[環境方針]

当社は積極的に環境経営システムを構築し、食品廃棄物の削減及び食品リサイクルの推進を主体にした環境への負荷の削減を目指すため、環境への取り組みを推進し、食品の安心・衛生管理とともに継続的に改善して行くことに努めます。

1. 食品に関連する事業活動を通して、環境の改善に努めます。

食品廃棄物の削減やリサイクルに取り組みます。

2. 電力や化石燃料の消費量を節減してCO2排出量の削減に努めます。

3. 水道使用量を節減して排水量の削減に努めます。

4. 環境関連法規制等を遵守します。

5. 環境コミュニケーションを積極的に実施します。

1)環境活動レポートの公開

2)利害関係者とのより良いコミュニケーション

3)環境方針等を周知し、社員全員参画による取り組み

6. グリーン購入を推進します。

制定 : 平成19年12月 1日

改定 1 : 平成23年 4月 1日

改定 2 : 平成26年 6月 5日

株式会社 焼津水産振興センター

代表取締役 村 松 正 直

2. 事業の概要

事業所及び代表者

株式会社 焼津水産振興センター
代表取締役 村松正直

所在地

〒425-0091 静岡県焼津市八楠4丁目13番地の7

食品リサイクル及び環境管理の責任者及び担当者

環境管理責任者 中山 行雄
担当者 大須賀 秀生
連絡先 TEL054-628-1137 FAX054-628-1185
E-mail : info@sakana-center.com

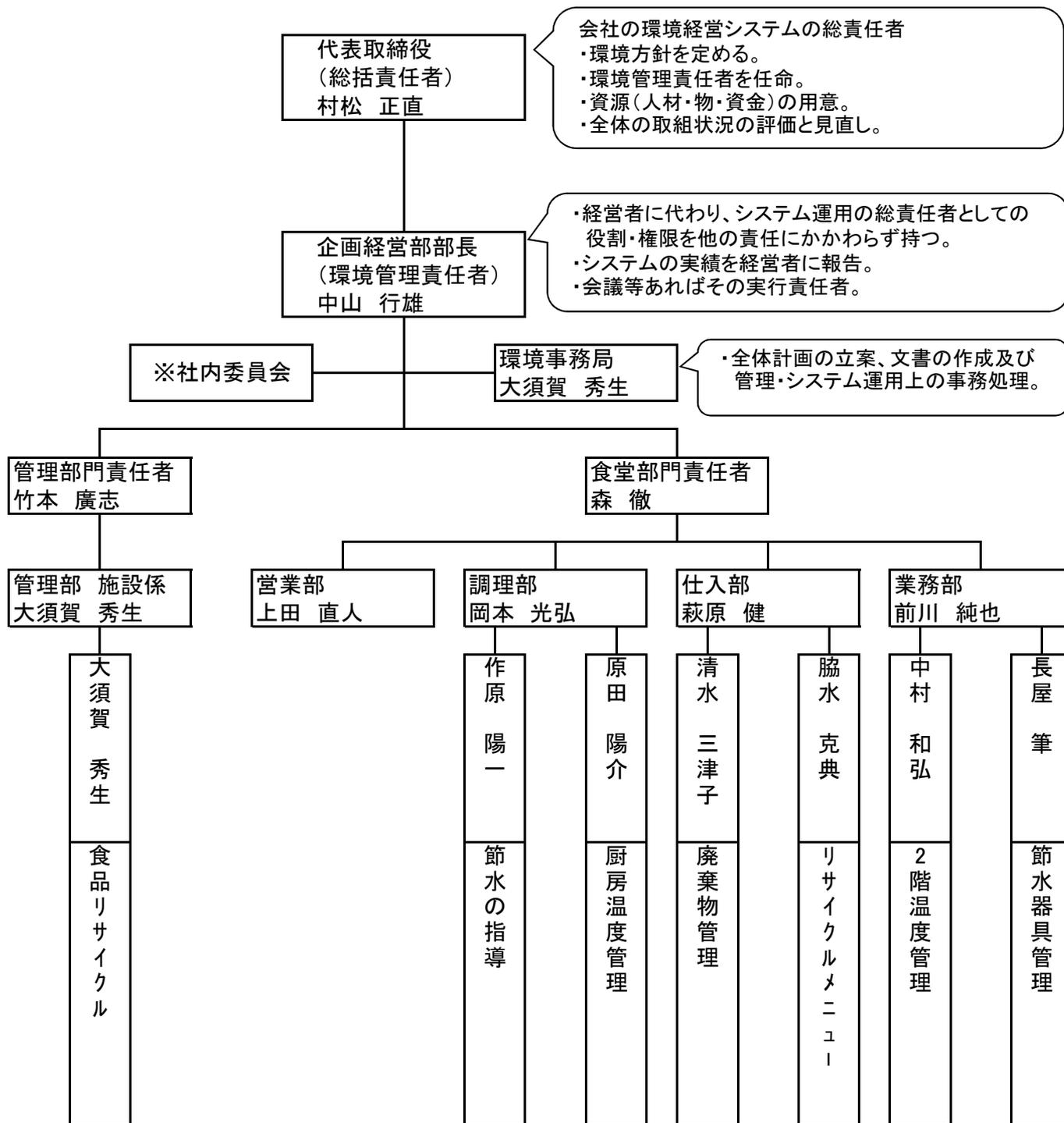
事業の規模

| 活動規模 | 単位 | 平成23年度 | 平成24年度 | 平成25年度 | 平成26年度 |
|--------|----------------|---------|---------|---------|---------|
| 食堂利用数 | 人 | 218,979 | 243,159 | 223,070 | 203,210 |
| 製品生産量 | t | 158.9 | 176.5 | 161.4 | 147.3 |
| 全社売上高 | 百万円 | 540 | 585 | 569 | 525 |
| 〈食堂売上〉 | | 〈307〉 | 〈351〉 | 〈345〉 | 〈303〉 |
| 〈管理売上〉 | | 〈195〉 | 〈196〉 | 〈187〉 | 〈186〉 |
| 〈共益売上〉 | | 〈37〉 | 〈37〉 | 〈37〉 | 〈36〉 |
| 従業員 | 人 | 79 | 70 | 72 | 68 |
| 食堂棟床面積 | m ² | 2,457 | 2,457 | 2,457 | 2,457 |

事業の内容 [全組織・全活動を対象として認証・登録]

飲食業(食堂)
店舗の賃貸業
観光案内業務
誘客業務

3. 環境経営システム実施体制図（平成26年6月5日現在）



会社の環境経営システムの総責任者
 ・環境方針を定める。
 ・環境管理責任者を任命。
 ・資源(人材・物・資金)の用意。
 ・全体の取組状況の評価と見直し。

・経営者に代わり、システム運用の総責任者としての役割・権限を他の責任にかかわらず持つ。
 ・システムの実績を経営者に報告。
 ・会議等あればその実行責任者。

・全体計画の立案、文書の作成及び管理・システム運用上の事務処理。

- ※社内委員会
- 衛生管理委員会 委員長 原田陽介 (他14名)
 - CS向上委員会 委員長 鈴木一成 (他10名)
 - 安全美化委員会 委員長 大須賀秀生 (他10名)

制定 : 平成19年12月 1日
 改定 1 : 平成23年 4月 1日
 改定 2 : 平成26年 6月 5日

4. 環境目標

中期目標:平成25年度実績を基準年度とし、平成28年度迄の基準年度対比削減%を設定。

| 環境目標 | 単位 | 平成25年度 実績 基準年 | 平成26年度 | 平成27年度 | 平成28年度 |
|-----------------|-----------------|------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| CO2排出量 | kg-CO2 | 649,120 | 648,471 0.1%削減 | 647,822 0.2%削減 | 647,173 0.3%削減 |
| (電力使用量) | kWh | 1,062,228 | 1,061,165 | 1,060,103 | 1,059,041 |
| (都市ガス使用量) | Nm ³ | 46,963 | 46,916 | 46,869 | 46,822 |
| (ガソリン使用量) | L | 2,230 | 2,227 | 2,225 | 2,223 |
| 食品リサイクル率の 向上 | | 32.7% | 35% | 37% | 40% |
| 一般廃棄物量最終処分量 | t | 49.63 | 49.58 0.1%削減 | 49.53 0.2%削減 | 49.48 0.3%削減 |
| 産業廃棄物量最終処分量 | t | 1.6000 | 1.5984 0.1%削減 | 1.5968 0.2%削減 | 1.5952 0.3%削減 |
| 水使用量 | m ³ | 13,624 | 13,610 0.1%削減 | 13,596 0.2%削減 | 13,583 0.3%削減 |
| グリーン購入 | 品数 | 2品 | 2品採用 | 2品採用 | 2品採用 |

※大食堂「渚」の1年間の利用客数により環境負荷量が左右されることから、電力・ガス・ガソリン・水の使用は環境効率指標も併行使用して評価します。

※平成25年度の実績結果で、食品リサイクル率32.7%達成できたことから、平成26年度以降を+2%/年以上にしました。

5. 環境活動計画の内容 [平成26年度]

(1)CO2排出量

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|---------------|-------------------------|-----|
| 648,471kg-CO2 | ①エアコン温度の設定管理 | 中村 |
| 平成25年度比0.1%削減 | ②エアコンフィルターの清掃 ③照明の消灯 | 原田 |

(2)食品リサイクル率の向上

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|------------|---------------|-----|
| 35% | ①食品リサイクルの現状確認 | 大須賀 |
| | ②リサイクルの再検討 | 脇水 |
| | ③メニューの改善検討 | |
| | ④脱水減量化の手段検討 | |

(3)廃棄物最終処分量(一般)

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|---------------|----------------------|-----|
| 49.58t | ①食品廃棄物量の測定 | 清水 |
| 平成25年度比0.1%削減 | ②製造量に合せた仕入 ③設備の改善 | |

廃棄物最終処分量(産廃)

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|---------------|-------------|-----|
| 1.5984t | ①無駄なスチロール包装 | 清水 |
| 平成25年度比0.1%削減 | | |

(4)水使用量

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|----------------------|-------------|-----|
| 13,610m ³ | ①水漏れ箇所の点検 | 長屋 |
| 平成25年度比0.1%削減 | ②トイレロータンク節水 | 作原 |

(5)グリーン購入

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|------------|---------------|-----|
| 2品採用 | ①商品購入時にエコ商品確認 | 大須賀 |

2)活動計画の取組結果と評価

(1)CO2排出量

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 取組結果の評価 | 評価 |
|--|-------------------------------------|--|-------------|
| 648,471kg-CO2 (平成25年度比0.1%削減) ↓ 結果 606,909kg-co2 | ①設備の温度管理 ②エアコンフィルターの清掃 ③照明の消灯 | ①エアコン管理だけでなく、野菜冷蔵庫やガラス用冷蔵庫の一時停止を実施し削減に努めました。 また、洗浄機用温水も3℃下げました。 ②担当者による清掃は出来ております。 ③器具の改善としては、平成27年1月に食堂棟600個をLED照明へ入替えました。(照明全体で約35.5%の削減) | ○ ○ ○ |

(2)食品リサイクル率の向上

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 取組結果の評価 | 評価 |
|--------------------------|--|--|------------------|
| 35% ↓ 結果 40.73% | ①食品リサイクルの現状確認 ②リサイクルの再検討 ⇒発生抑制量にカウント ③メニューの改善検討 ④脱水減量化手段検討 | ①②鮪カマ煮付けの食べ残しをリサイクル業者(飼料化)へ引き渡しております。 また、残渣の水切りを行った結果、廃棄物中の食品割合をアップさせ、リサイクル率の数値を出しました。 ③季節ごとのメニューに関して検討。 ④平成27年4月より食品残渣を月々約240kgリサイクル業者が回収致します。 | ○ ○ △ ○ |

(3)一般廃棄物最終処分量

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 取組結果の評価 | 評価 |
|--|-------------------------------------|--|-------------|
| 49.58t (平成25年度比0.1%削減) ↓ 結果 46.33t | ①食品廃棄物量の測定 ②製造量に合せた仕入 ③仕入時の改善 | ①毎月定められた日に測定が出来ております。 ②夏季限定でバイキング食べ放題の企画を行った。初めてのバイキングでしたので、仕入・製造・廃棄の量について勉強の年となりました。 ③ステロールを回収するよう6社へ説明。2社引取り可能 | ○ △ ○ |

(4)水使用量

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 取組結果の評価 | 評価 |
|--|---|---|--------|
| 13,610m ³ (平成25年度比0.1%削減) ↓ 結果 12,685m ³ | ①水漏れ箇所の点検 ②トイレロータンク節水  | ①毎月定められた日に点検ができております。 ②ペットボトルを洗剤での減量について、作動不良が起きる場合があり、節水器具の選出に取り組みます。 | ○ × |

(5)グリーン購入

| 平成26年度環境目標 | 活動内容 | 取組結果の評価 | 評価 |
|-------------------------|---------------|--|----|
| 2品採用 ↓ 結果 2品採用 | ①商品購入時にエコ商品確認 | ①・両面テープ ・手拭きタウパー 計2品を採用致しました。 全体で12品となります。 (ボールペン、蛍光ペン、ホワイトボードマーカー、修正テープ、修正テープ詰め替え用、ステックのり、セロテープ、クラフト粘着テープ、クラフト布粘着テープ、ポストイット。) | ○ |

7. 次年度の取組内容 [平成27年度]

(1)CO2排出量

| 平成27年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|--------------------------------|---|----------|
| 647,822kg-CO2 平成25年度比0.2%削減 | ①エアコン温度の設定管理 ②エアコンフィルターの清掃 ③照明の消灯 ④空調の稼働時間短縮 | 中村 原田 |

(2)食品リサイクル率の向上

| 平成27年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|------------|---|-----------|
| 37% | ①食品リサイクルの現状確認 ②リサイクルの再検討 ③メニューの改善検討 ④脱水減量処理の検討 | 大須賀 脇水 |

(3)廃棄物最終処分量(一般)

| 平成27年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|-------------------------|--|-----|
| 49.53t 平成25年度比0.2%削減 | ①食品廃棄物量の測定 ②製造量に合わせた仕入 ③リサイクルへの再検討 ④消耗品の見直し | 清水 |

廃棄物最終処分量(産廃)

| 平成27年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|--------------------------|-------------|-----|
| 1.5968t 平成25年度比0.2%削減 | ①無駄なスチロール包装 | 清水 |

(4)水使用量

| 平成27年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|---------------------------------------|--------------------------|----------|
| 13,596m ³ 平成25年度比0.2%削減 | ①水漏れ箇所の点検 ②トイレロータンク節水 | 長屋 作原 |

(5)グリーン購入

| 平成27年度環境目標 | 活動内容 | 担当者 |
|------------|---------------|-----|
| 2品採用 | ①商品購入時にエコ商品確認 | 大須賀 |

8. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに訴訟等の有無

1) 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果

下記のとおり、平成27年3月31日に遵守を確認した結果、違反・逸脱はありませんでした。

| 環境関連法規等の名称 | 規制概要 | 規制詳細 | 遵法評価 |
|----------------------|----------------|--|------|
| 廃棄物処理法 | 事業者の責務 | 廃棄物の適正処理、施策協力。 | ○ |
| | 産業廃棄物処理 | 事業者の責任で自ら処理。 | |
| | 産業廃棄物保管 | 飛散、流出、地下浸透の防止。 保管場所に掲示板(60cm以上)。 | |
| | 産業廃棄物委託基準 | 運搬、処分許可業者との委託契約。 契約書に許可証の写しを添付。 契約書を5年間保管(終了日より)。 | |
| | 産業廃棄物管理票 | 管理票(マニフェスト)の交付、A票保管。 B2票を10日以内に受領。 D票を90日、E票を180日以内に回収。 管理票(A・B2・D・E票)の写しを5年間保存。 管理票交付等状況報告書(平成27年6月30日提出期限) | |
| 静岡県産業廃棄物の適正な処理に関する条例 | 産業廃棄物管理責任者の設置 | 法令遵守、体制整備に係る任務。 | ○ |
| | 産業廃棄物処理委託の実地確認 | 契約後、年1回以上 処理状況の確認。(平成26年9月22日) 確認結果の記録、5年間保存。 | ○ |
| グリーン購入法 | エコマーク商品の購入 | 環境へ負荷が少ない商品を購入。 | ○ |
| 浄化槽法 | 公共用水域等の水質の保全 | 保守・清掃点検を業者へ委託契約。 (平成27年1月21日法定検査実施) 浄化槽No.1=1,203人 浄化槽No.2=1,000人 | ○ |
| 水質汚濁防止法 | 排出水の水質汚濁防止 | 立入検査あり、排水基準値管理 (平成21年12月1日立入検査実施) | ○ |
| 食品リサイクル法 | 再生利用等 | 食品廃棄物の再生利用等の実施率を35%以上。 | ○ |
| 騒音規制法(県条例) | 騒音の規制 | 特定施設の届出 送風機3機(平成21年11月27日届出済) 冷凍機2機(平成22年6月1日届出済) | ○ |
| 一般廃棄物に関する(焼津市条例) | 一般ごみ | 運搬、処分許可業者との委託契約。 | ○ |
| 建築基準法 | 建築物の管理 | 建築物の敷地・設備・構造・用途についての規制基準を定めている。(平成27年3月14日検査実施) | ○ |
| 消防法 | 消防設備 | 火災予防として消防用設備点検 (平成26年11月27日検査実施) | ○ |
| 食品衛生法 | 食品衛生監視 | 食品衛生上の危害の発生の防止 (平成26年7月4日監視済み) | ○ |
| フロン排出抑制法 | 冷凍機、冷蔵機器 | 簡易点検(3ヶ月に1回)、定期点検(年1回)専門業者へ委託 | 計画済み |
| | 空調機 | フロン漏洩に対する報告義務 | |

2) 訴訟等の有無

過去3年間にわたって関連機関から違反指摘や利害関係者から訴訟等もありませんでした。

3) 外部からの苦情・要望等は、この1年間ありませんでした。

法規制等遵守確認日

平成27年3月31日

確認者

環境管理責任者

9. 代表者による全体の評価と見直し

基準年(平成25年度)の利用客数223,070人に対し、平成26年度は203,210人＝マイナス9%。利用客数の減少と冬期の野菜冷蔵庫の停止、洗浄機用温水を3℃下げるなど環境目標の数値実数はクリアできているが、一人あたりで算出の場合、利用客数が減少しても固定経費＝量は変動しないため、前年より厳しい結果となった。

食品リサイクル率については、食べ残し、お茶パック等の水分除去を行い抑制数値として、廃棄物発生量から減量できた結果、40.73%となったことは評価できる。

また、平成27年4月から食品リサイクル業者にて残渣を回収・肥料化を決めており、月々約240kgの再生利用量の確保に努めている。

平成27年6月22日
株式会社 焼津水産振興センター
代表取締役 村松正直

平成26年度 委員会報告

●衛生管理委員会 毎月1回、委託業者にて衛生検査を実施しております。(検便検査や食品検査等)

●CS向上委員会 食事をされたお客様の満足度を調査する『お客様アンケート』を集計しております。アンケート結果をふまえて、従業員への教育を実施により満足度向上に努めます。

| | 料理満足度 | 接客満足度 |
|--------|-------|-------|
| 平成26年度 | 86.3点 | 86.4点 |
| 平成25年度 | 86.5点 | 86.0点 |
| 平成24年度 | 86.8点 | 86.7点 |
| 平成23年度 | 84.7点 | 86.5点 |

●安全美化委員会

| | |
|--------|------------|
| 6月9日 | 場内のゴミ拾い活動。 |
| 8月12日 | 廃棄物置場の清掃。 |
| 9月11日 | 場外のゴミ拾い活動。 |
| 11月7日 | トイレの水漏れ点検。 |
| 12月12日 | 場内花壇の清掃。 |